

目指す学校像・子ども像		学校教育目標		【学校経営の5つの基本方針】					
○「かかわり」や「つながり」の中で生きるための優しさを身に付けさせ、思いやりのある児童 ○現状に満足することなく、自ら心や体を鍛え、最後までやり抜く力を備えた児童 ○できないことをできるようにさせ、自信をもち協働して課題に取り組み、粘り強く考える児童		人にやさしさ 自分につよさ 【重点目標】 生き抜くかしこさ		(1) 確かな学力の保障、健康な心と体力向上 (2) 安全・安心な学校のための危機管理の徹底 (3) 地域の中にある学校としての取り組み (4) 人権尊重と心の教育の充実 (5) 特別支援教育の充実					
経営目標						取組指標		成果指標	
中期経営目標		短期経営目標		具体的取組				児童アンケート	保護者アンケート
学力・体力をつける学校	これからの社会を生き抜く児童に対して、新学習指導要領の内容を踏まえ、確かな学力、生活の基盤となる体力を確実に身に付けさせる。	主体的・対話的な学びの実現により、一人一人の学力・体力の向上	全ての教科において主体的・対話的となる学習活動を積極的に取り入れるとともに、魅力ある授業、夢中になれる授業を実現する。	4	とてもよく実施している	1	1	1	1
				3	よく実施している				
				2	あまり実施していない				
				1	実施していない				
			「めあて」を共有し、「まとめ」「ふりかえり」のある授業を積み重ねる。	4	とてもよく実施している	2	2		
				3	よく実施している				
				2	あまり実施していない				
				1	実施していない				
			ICT機器やデジタル教科書等を有効活用し、全員参加の授業を実施する。	4	とてもよく実施している	3	3		
				3	よく実施している				
				2	あまり実施していない				
				1	実施していない				
			「家庭学習のススメ」を活用し、保護者と連携して家庭学習の習慣化を図る。	4	家庭学習の指導を週に2回実施	4	4		
				3	家庭学習の指導を週に1回実施				
				2	家庭学習の指導を2週に1回実施				
				1	家庭学習の指導を3週に1回実施				
「マラソンタイムと持久走大会」や「なわとびタイム」等の体育的活動を工夫・改善し、運動をする子とそうでない子の二極化の解消に向けた取り組みを推進する。	4	自己記録更新児童数9割	5	5					
	3	自己記録更新児童数8割							
	2	自己記録更新児童数7割							
	1	自己記録更新児童数6割以下							
安全・安心な学校	児童が安全に、安心して通うことができ、保護者が安心して通わせることができる学校づくりを推進する。	未然防止を前提とした「いじめ」対応の実現といじめ解消率100%	学校全体で正しい言葉遣いなど、言葉に対する意識を高めながら言語環境を整備することにより一人一人を大切にしたい人権教育を推進する。	4	言葉遣いに関する指導を週2回以上実施	6	6		
				3	言葉遣いに関する指導を週1回実施				
				2	言葉遣いに関する指導を2週に1回実施				
				1	言葉遣いに関する指導を月に1回実施				
			「いじめはどんな環境でも発生するものである」という認識に立ち、いじめ防止に向けた取り組みを推進する。	4	いじめ防止に関する授業を年間3回以上実施	7	7		
				3	いじめ防止に関する授業を年間2回実施				
				2	いじめ防止に関する授業を年間1回実施				
				1	いじめ防止に関する授業を実施しなかった				
			「上小のきまり」を基に、職員間で共通理解に徹した指導の充実を図る。学校管理下における、教師の見守りや、安全対策を徹底する。	4	指導を週に2回以上実施	12	12		
				3	指導を週に1回実施				
				2	指導を2週に1回実施				
				1	指導を月に1回実施				
かかわりを大事にした学校	人や社会、自然などのかかわりとつながりを大切にしたい豊かなコミュニケーション能力を高める教育活動を推進する。	人、もの、場所との「かかわり」を重視した教育活動の充実	学年でのあいさつ運動やあいさつの指導を、地域、保護者とも連携を図り、全教職員の共通理解のもと確実に行う。	4	あいさつや返事の指導を週に5回以上実施	8	8		
				3	あいさつや返事の指導を週に3回実施				
				2	あいさつや返事の指導を週に1回実施				
			1	あいさつや返事の指導を週に1回未満実施					
			年間を通したフレンド班活動の計画的実践における異学年交流の充実を図る。	4	異学年交流の指導を月1回以上実施			9	9
				3	異学年交流の指導を月1回実施				
2	異学年交流の指導を2月に1回実施								
1	異学年交流の指導を3月に1回実施								
地域とともにある学校	地域と共にある学校を目指して、地域社会と連携を深め、地域に愛される学校づくりを推進する。	保護者の積極的な学校の教育活動への参加	各教科・総合的な時間、学級活動など、ありとあらゆる中で、地域人材の活用を促すとともに、地域社会へ出て地域を学ぶ学習を充実させる。本校で実施される地域のイベントに積極的に参加し、地域とのつながりを増やす。	4	年3回以上実施	10	10		
				3	年2回実施				
				2	年1回実施				
				1	特に実施しなかった				
			情報発信を積極的に行い、保護者が通信機器を通して学校の様子を理解できるようにする。	4	ホームページでの情報提供を月1回以上実施			11	11
				3	ホームページでの情報提供を2月に1回実施				
				2	ホームページでの情報提供を3月に1回実施				
				1	ホームページでの情報提供を4月に1回実施				
働き方改善・	勤務時間管理と勤務時間・健康管理を意識した働き方を推進する。	勤務時間の管理の徹底	教職員の意識改革を図り、週当たりの在校時間が60時間を超えないようにする。	4	1日の在校時間が12時間を超える日が週に0日	/	/		
				3	1日の在校時間が12時間を超える日が週に1、2日				
				2	1日の在校時間が12時間を超える日が週に3、4日				
				1	1日の在校時間が12時間を超える日が週に5日				